

2022年度文部科学省 EDU-Port ニッポン事業
「香川大学衛生教育および学校保健室体制モデルの進展事業」渡航指導

文部科学省 EDU-Port ニッポン事業の渡航指導を以下のとおり実施した。

- ・渡航教員： 創造工学部 荒川雅生 副学部長・教授
教育学部 宮本賢作 教授
- ・参加者： カンボジア教育青年スポーツ省学校保健局(SHD) Chheykim Sotheavy 局長
カンボジア健康科学大学(UHS) 看護教員
カンボジアプノンペン市ダウンペン地区チャクトムック小学校 教員
- ・期 日： 2022年9月7日から9日
- ・場 所： カンボジアプノンペン市ダウンペン地区チャクトムック小学校



参加者の方々

9月7日 開会とガイダンス

○開会

- ・荒川教授、宮本教授から、今回のカンボジア訪問にあたって、プロジェクトの開催の挨拶を行い、当日のスケジュールが説明された。併せて、8日の測定へ向けての調整を行った。

○宮本教授からの測定ガイダンス

- ・上腕肥厚圧の測定方法の詳しい説明

皮下脂肪厚測定：上腕背部での測定のみで全身の体脂肪率を換算することはできないが、脂肪厚を計測することは意味があることを説明し、測定方法について演習した。皮膚の摘み方、ノギスの当て方などの技術習得に経験が必要であることを確認した。つまんで皮下基底面から1cmを読み取るが、読み取りの際に90度で読み取ることが難しく、斜めに読んでいる場合があるため、測定誤差に留意が必要である。

- ・腹部など測定方法の詳しい説明

腹囲：スクリーンなどが設置されていなかったため、男女混合で測定すること、文化的配慮が不明であることから、着衣のまま測定を行った。測定方法については、現地の慣習を尊重して、

今後、検討が必要である。女子児童の計測にあたってはパーティションなどの活用が必要と思われた。

身長:眼窩と耳珠点を結ぶラインが水平になるように指導した。

体重:デジタル計であったため、読み取りが安易に実施できた。靴を履いたまま計測する習慣があるとのことである。

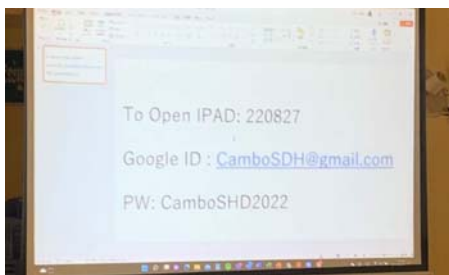
○荒川教授からタブレット入力ガイダンス

- ・iPad の利用方法の説明を行った。ネットワークトラブルではないかと思われるもので、最終まで行きつかなかった。開発作業者に事後確認することとした。
- ・入力方法のマニュアルについて、修正が必要である。



宮本教授から測定方法説明

荒川教授からタブレット入力説明



ID、パスワードの確認



同

9月8日 身体計測とデータマネージメント

○身体測定

- ・チェックムック小学校の6年生合計81名に対して測定を実施し81データが登録された。

○データ登録

- ・測定後、iPad の使い方を説明し、実際に入力作業を行った。
- ・クラウドにデータが保存される様子を見せることができた。
- ・iPad の使い方について、クメール語の解説を YouTube に掲載してほしいとの要望があり、今後の課題とした。来日研修において、表示そのものをクメール語とすることも検討する必要がある。
- ・説明用マニュアルもクメール語に変更してほしいという要望があった。

・翌日までにある程度、測定データ分析を行い、9日にカンボジア教育青年スポーツ省学校保健局で行われる SHD 局長らとのミーティングで説明を行うこととした。



整列する児童



腹囲測定



上腕肥厚圧測定



同



SN の測定



記録



データ



データ入力



確認



入力解説



UHS メンバー

9月9日 修了後ミーティング

○宮本教授からの所感報告

・日本における学校での児童、生徒を対象とした健康診断の仕組みについて、クメール語翻訳の講義資料に基づき、説明を行った。参加者から、来日して実際に健康診断の様子を見たいとの要望があった。また、成長曲線に関する基本的な見方について説明し、加えて腹囲、皮下脂肪を測定することの意義について説明した。

○荒川教授からデータの解析の説明

・前日に取得した測定データから、男女・身長・体重のヒストグラム、平均値、標準偏差からできる正規分布からの人数推定、同様のことを日本人の測定データから行ったものの、合計4つのグラフとBMI、上腕肥厚圧、BMI 及び腹囲の相関図を示して、統計的な意味合いを説明した。



タブレットの贈呈



チャクトムック小学校:左から小学校教員、宮本教授、局長、副校長、荒川教授、通訳ピンさん

○ミーティングのまとめ

- ・今後、全国に展開するにあたって、SHD が iPad を管理し、保管する。
- ・生年月日を入力するため、加えて年齢も入力するのは煩雑だという意見があり、今後の課題とする。
- ・香川大学から送った健康診断機器、iPad、システム使用許可証の贈呈を行った。
- ・今後ともプロジェクトを続けていくことで合意した。